

R4年度キャッシュレス決済_稼働実績分析 (速報版)

総合政策部企画政策局
未来デジタル課DX推進室

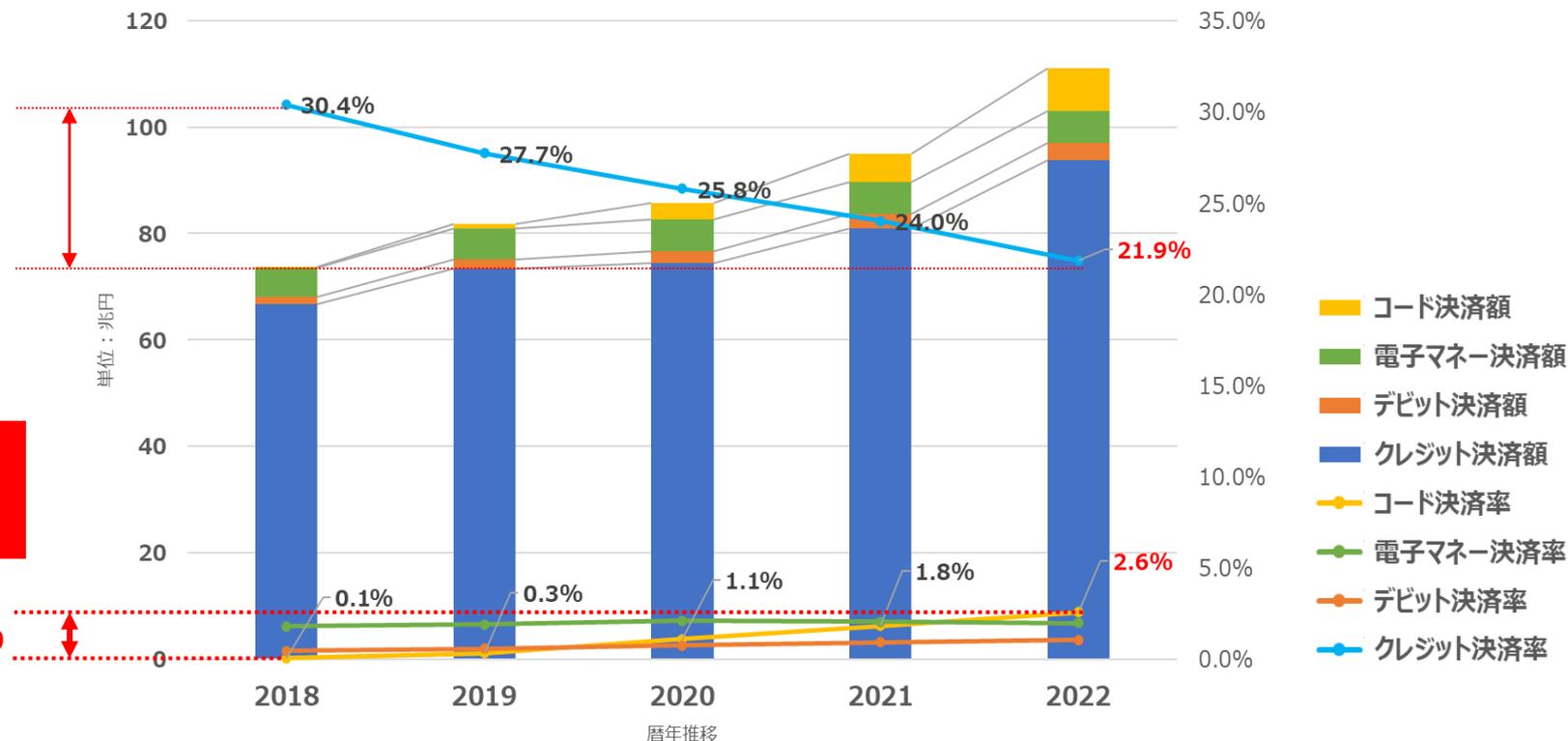
1 国内におけるキャッシュレス決済利用動向

速報版



- 2018年から2022年にかけて、キャッシュレス決済のシェアが急速に拡大
(2018:82兆円⇒ 2022:111兆円 **29兆円/35%増加**)
- コード決済 (PayPay等) の決済比率が上昇** (クレジットカードのシェアは減少)
⇒インバウンド需要増加への対応や生産性向上を目的として普及し始めたキャッシュレス決済が、国のマイナポイント事業推進やコロナ禍での非接触決済への移行を経て、**コード決済を中心として飛躍的に進展**

日本におけるキャッシュレス決済額及び比率の推移 (2022年)



経済産業省「【参考】キャッシュレス決済額・比率の内訳の推移 (2010~2022年)」 (ソースデータを再編集)

2.1 今治市におけるキャッシュレス決済実績（全体）

速報版



- 2022年3月15日から、村上海賊ミュージアムおよび市民課窓口でキャッシュレス（マルチ決済端末※1）を導入

○コード決済：年間キャッシュレス決済金額の48%（2,344,770円）

○クレジットカード：決済金額の25%（1,220,360円）

○電子マネー：決済金額の27%（1,335,920円）

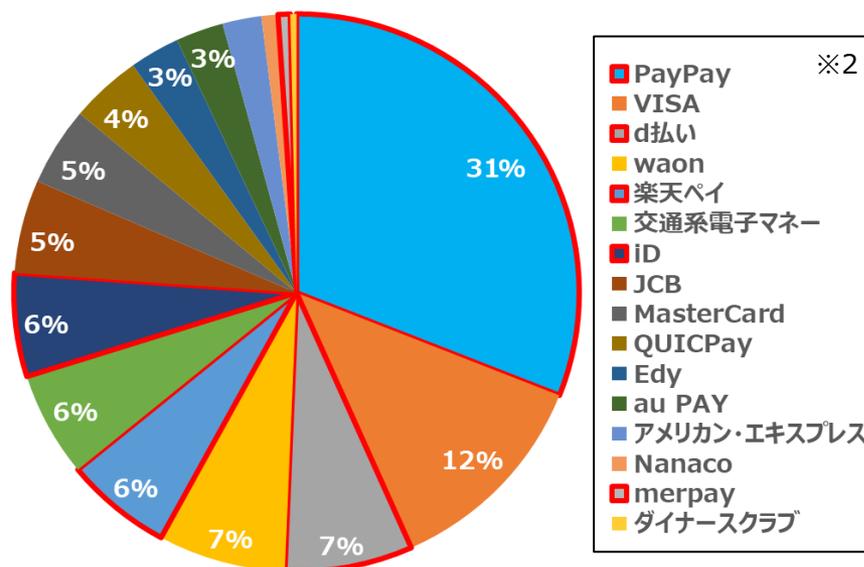
⇒コード決済が大半を占め、クレジットカード、電子マネーについては一定の利用にとどまっている。

⇒コード決済金額のうち、PayPayのシェアが65%

R4キャッシュレス決済_媒体別決済額

	決済媒体	決済金額
コード決済	PayPay	1,518,910
	d払い	358,210
	楽天ペイ	299,910
	au PAY	133,730
	merpay	34,010
クレジットカード	VISA	605,530
	JCB	265,290
	MasterCard	223,020
	アメリカン・エキスプレス	109,260
	ダイナースクラブ	17,260
	合計	4,900,420
電子マネー	waon	357,270
	交通系電子マネー	297,740
	iD	293,510
	QUICPay	199,630
	Edy	140,910
	Nanaco	46,230
	合計	4,900,420

R4キャッシュレス決済_決済媒体利用率



※1 分析にあたっては、マルチ決済端末からPOSレジアプリケーションを通じて抽出した2022/4/1～2023/3/1における実績データ（調定整理前のデータ）を活用している。

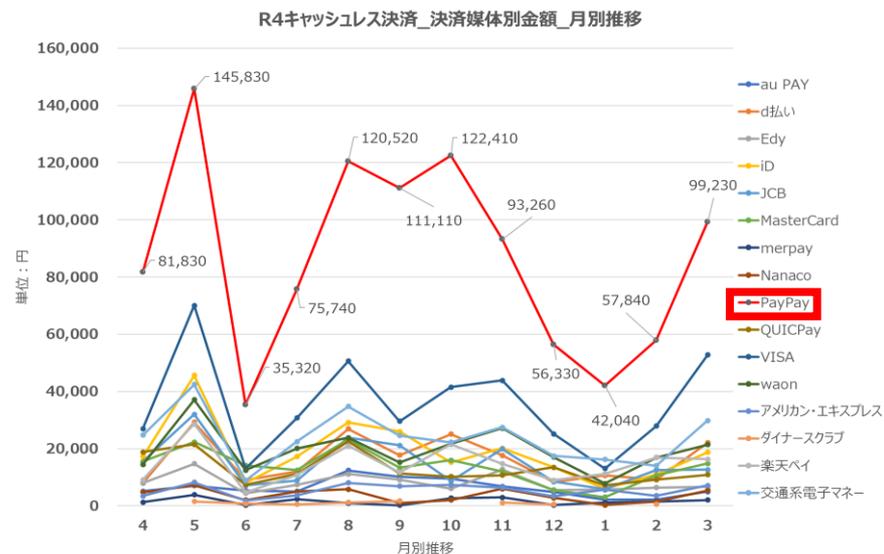
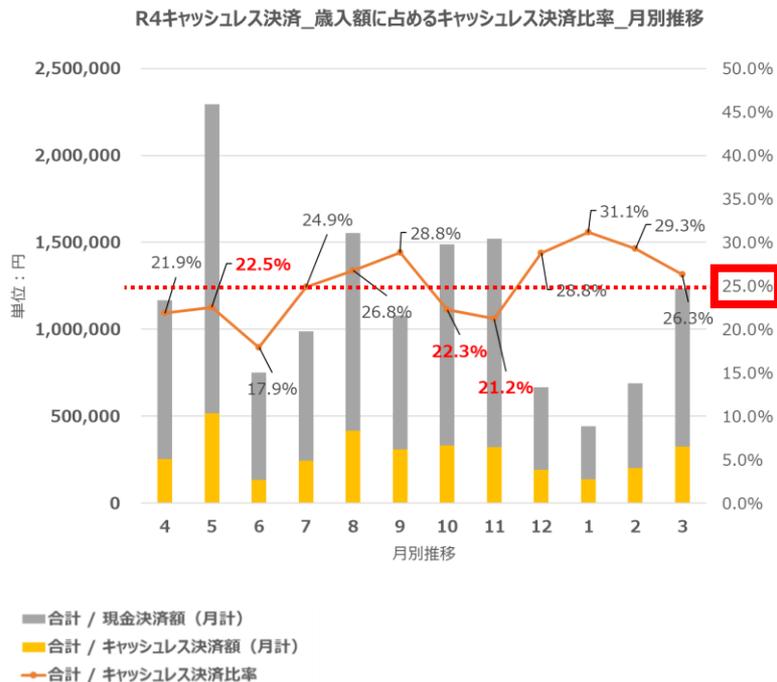
※2 登録商標については、P8以降のAppendixを参照

2.2 今治市におけるキャッシュレス決済実績（村上海賊ミュージアム）

速報版



- 歳入に占めるキャッシュレス決済比率は**平均25%（年間）**であり、**導入初年度から高い決済比率を達成**
 - 歳入総額13,877,170円（現金10,488,050円、キャッシュレス決済3,389,120円）であり、**現金とキャッシュレス決済の比率は3：1**
 - キャッシュレス決済比率は、繁閑に伴う大きな変動はないものの、GWを含む5月や秋の行楽シーズンである10～11月において、平均未滿
 - 2022/4～2023/3の月別推移において、**1年を通じてPayPayの決済金額が最も高い。**
- ⇒観光施設という性質上、市外からの**流動人口においてはキャッシュレス決済が浸透**している傾向がうかがえる。



2.2 今治市におけるキャッシュレス決済実績（村上海賊ミュージアム）

速報版



○コード決済：年間キャッシュレス決済金額の44%（1,507,250円）

○クレジットカード：決済金額の27%（927,120円）

○電子マネー：決済金額の28%（953,990円）

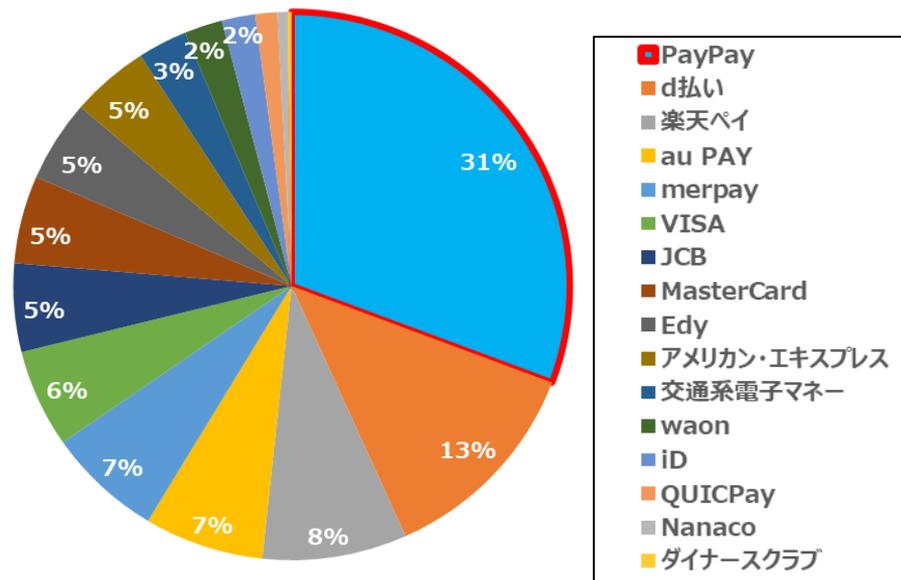
⇒コード決済が大半を占め、クレジットカード、電子マネーについては一定の利用にとどまっている。

⇒コード決済金額のうち、PayPayのシェアが69%

R4キャッシュレス決済_媒体別決済額

	決済媒体	決済金額
コード決済	PayPay	1,041,460
	d払い	195,660
	楽天ペイ	175,460
	au PAY	75,330
	merpay	19,610
クレジットカード	VISA	425,280
	JCB	176,540
	MasterCard	162,870
	Edy	97,560
	アメリカン・エクスプレス	65,360
電子マネー	交通系電子マネー	285,090
	waon	235,170
	iD	227,860
	QUICPay	154,230
	Nanaco	43,680
	ダイナースクラブ	7,960
	合計	3,389,120

R4キャッシュレス決済_決済媒体利用比率

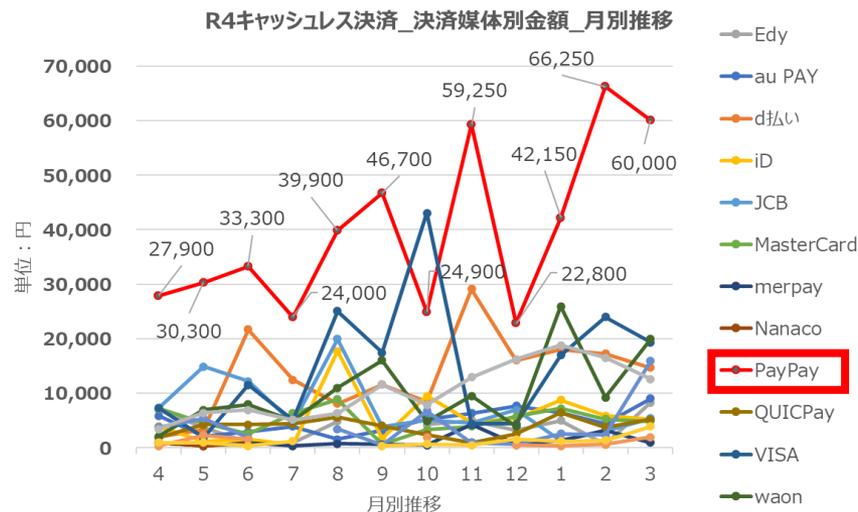
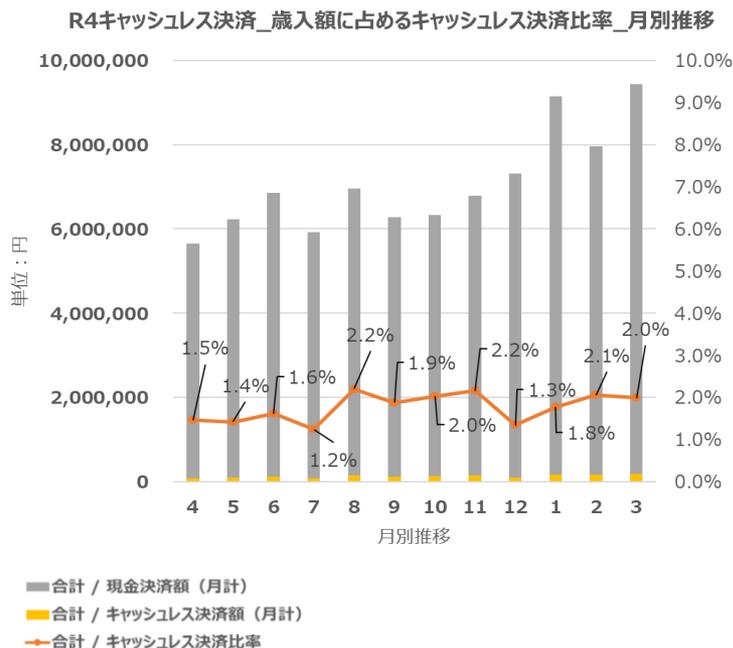


2.3 今治市におけるキャッシュレス決済実績（市民課）

速報版



- 歳入に占めるキャッシュレス決済比率は**平均2.1%（年間）**であり、**利用が低迷**
- 歳入総額84,901,310円（現金83,390,010円、キャッシュレス決済1,511,300円）であり、**現金とキャッシュレス決済の比率は49：1**
- キャッシュレス決済比率は、繁閑に伴う大きな変動はなく、人の移動（転入・転出）が多い3月においても、ほぼ平均値
- 2022/4～2023/3の月別推移において、10月を除く**1年を通じてPayPayの決済金額が最も高い**。
⇒市民利用が中心であり、市内での**常住者においてはキャッシュレス決済の普及率自体が低迷**している傾向がうかがえる。



2.3 今治市におけるキャッシュレス決済実績（市民課）

速報版



○コード決済：年間キャッシュレス決済金額の55%（837,250円）

○クレジットカード：決済金額の25%（382,350円）

○電子マネー：決済金額の19%（291,700円）

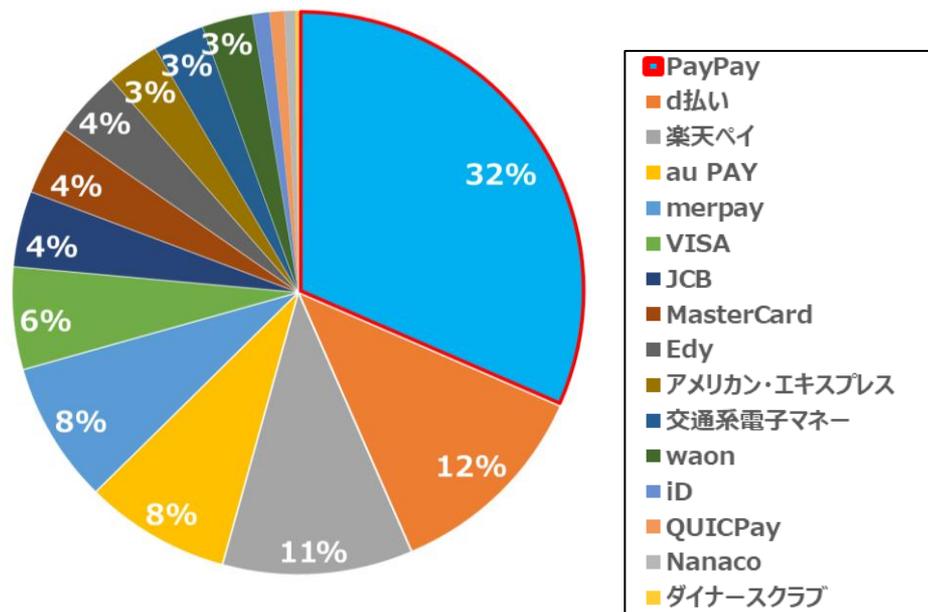
⇒コード決済が大半を占め、クレジットカード、電子マネーについては一定の利用にとどまっている。

⇒コード決済金額のうち、PayPayのシェアが57%

R4キャッシュレス決済_媒体別決済額

	決済媒体	決済金額
コード決済	PayPay	477,450
	d払い	162,550
	楽天ペイ	124,450
	au PAY	58,400
	merpay	14,400
クレジットカード	VISA	180,250
	JCB	88,750
	MasterCard	60,150
	アメリカン・エクスプレス	43,900
	ダイナースクラブ	9,300
電子マネー	waon	122,100
	iD	65,650
	QUICPay	45,400
	Edy	43,350
	交通系電子マネー	12,650
	Nanaco	2,550
	総計	1,511,300

R4キャッシュレス決済_決済媒体利用率



Appendix

本資料に掲載の決済媒体における登録商標については、下記のとおりです。

- PayPay : Zホールディングス株式会社
- d払い : 株式会社NTTドコモ
- 楽天ペイ : 楽天グループ株式会社
- au PAY:KDDI株式会社
- merpay:株式会社メルカリ
- VISA:Visa International Service Association
- JCB:株式会社ジェーシービー
- MasterCard:MasterCard International Incorporated
- アメリカン・エキスプレス : エクスプレス マーケティング アンド デベロプメント コーポレーション
- ダイナースクラブ : Citi Cards Japan
- waon:イオン株式会社
- iD:株式会社NTTドコモ
- QUICPay:株式会社ジェーシービー
- Edy:楽天Edy株式会社
- Nanaco:株式会社セブン・カードサービス